

自己評価結果公表シート(令和7年度)

にわかかこども園

1. 本園の教育目標

- ① よく食べ、よく寝、よく遊ぶ子
- ② じぶんを素直に表現できる子
- ③ いのちを大切にできる子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

「育ち合い」をテーマに、目に見えない育ち(非認知能力)、選択する決断力、責任感、意欲、満足感を育むとともに専門性の向上につなげる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取組状況
保育目標①への取り組み 「よく食べ、よく寝、よく遊ぶ子」	<ul style="list-style-type: none">・ 戸外遊びや散歩、運動遊び等を積極的に取り入れ、十分に身体を動かして遊ぶ経験を大切にした。・ 一人ひとりの生活リズムや体調に配慮しながら、安心して過ごせる環境づくりに努めた。・ 畑活動や食育活動を通して、食への興味関心を育み、楽しく食事ができるよう取り組んだ。・ 継続した戸外活動により、体力づくりや健康な生活習慣につながる姿が見られた。
保育目標②への取り組み 「じぶんを素直に表現できる子」	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもが安心して自分の思いや気持ちを表現できるよう、丁寧な関わりを大切にした。・ 表現遊び、異年齢での関わり等を通して、自分の思いを伝えたり相手の気持ちに気付いたりする経験を積み重ねた。・ 子ども自身が遊びを選び、考え、試せる環境づくりを意識し、主体的に活動する姿につなげられるようにした
保育目標③への取り組み 「いのちを大切にできる子」	<ul style="list-style-type: none">・ 野菜の栽培活動等を通して、自然や生命への興味関心を育む取り組みを行った。・ 友達との関わりの中で、相手の気持ちに気づき、思いやりを持って関わろうとする姿を大切にしてきた。・ 安全指導や避難訓練を通して、自分や周囲の命を守る意識

	につながるよう取り組んだ。
ICT の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保育業務支援ツールを活用し、保護者への情報提供や欠席連絡等の効率化を図った。 ・職員間でタブレットやパソコンを活用し、記録、書類作成の効率化に努めた。 ・今後は、職員の ICT 活用スキルの向上や情報管理の徹底をはかる
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校や中学校との交流活動を実施し、就学や異年齢交流への期待につながる取り組みを行った。
職員間の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や、未満児・以上児会議等を通して、子どもの姿や支援方法について共通理解を図った。 ・ヒヤリハット事例や保護者対応等について情報共有を行い、安全管理や組織的対応につなげた。 ・タブレット等 ICT を活用し、職員間での情報共有に努めた。
保育の質の向上及び職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や外部研修への参加を通して、保育の専門性向上に努めた。 ・子どもの主体性や育ち合いを大切にした保育について職員間で学び合い、日々の保育改善につなげた。 ・公開保育や振り返りを通して、自らの保育を見直し、保育の質の向上を図った。
保護者支援の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の対話や個別面談、アプリ等を通して、家庭との丁寧な連携に努めた。 ・子どもの育ちや生活習慣について家庭と情報共有し、安心して子育てができるよう支援を行った。 ・保護者の悩みや不安に寄り添い、必要に応じて関係機関との連携も行った。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事や関係機関との連携を通し、地域全体で子どもの育ちを支える意識づくりをしていく ・地域資源を活かした教育・保育活動を継続していきたい。 ・幼保小の円滑な接続に向けて、子どもの育ちや教育内容について共通理解を深めていきたい。 ・地域の人材や資源を活用した体験活動をさらに工夫し、豊かな学びにつなげていく
安全管理・情報管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止やヒヤリハット事例の共有を通して、安全管理に対する職員間の共通理解をさらに深めていく ・個人情報保護や ICT 活用に伴う情報管理について、職員全体で意識向上に努めていく必要がある。
特別支援・配慮を要する児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で発達理解や支援方法について継続して学び、専門性向上を図っていく ・関係機関との連携を深めながら、早期支援や切れ目のない支援体制づくりを進めていく ・保護者が安心して相談できる環境づくりを継続し、家庭と連携した支援を充実させていく